

 大日本コンサルタント株式会社  
NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.

受付  
2008.24  
青柳 隆雄

「美しく魅力ある国土の建設と保全」

「安全で快適な住まい環境の創出」

社会資本整備を通じ、

この2つの経営理念の実現に邁進すること。

これが私たちの社会的使命であり、働く喜びです。

1963年（昭和38年）の創業以来、確かな技術力で

橋梁、道路、都市、河川、港湾など、国内外の様々な

社会資本整備の計画・設計に取り組んでまいりました。

近年は、多様な社会課題と誠実に向き合い、

これまで以上に、持続可能な社会づくりに貢献できるよう、

イノベーションに注力し、事業領域の拡大に挑戦しています。

「人を創る、仕事を創る、社会を創る」経営方針のもと、

人と人、人と社会、人と自然との対話を大切に

社会から信頼され、必要とされる企業になるべく、

これからも公正かつ適正な企業経営を続けてまいります。

弊社に関わるすべての皆様の、ご支援、ご鞭撻を

よろしくお願い申し上げます。

大日本コンサルタント株式会社  
代表取締役社長執行役員 新井 伸博



## 業務内容

業務範囲は、  
計画・設計技術をコアに、事業の企画から  
運営・管理まで、社会資本整備事業全般をカバーします。  
利害や立場の異なる人々と対話し、関係者間の合意を  
形成することも、重要な役割です。  
確かな技術力、誠実な対話力、創造的な発想力をもって、  
社会ニーズに応えています。

### □ 事業全般をカバーする業務範囲

#### 企 画

事業者の委託を受けて、構想を立ち上げ、  
企画を練るフェーズ。社会ニーズの読み  
取り、予算確保の可能性、社会的インパ  
クト等を勘案する力量が求められます。  
これまでは、行政側自身が担うことが多  
かったですが、徐々に建設コンサルタン  
トへの発注が増えてきています。



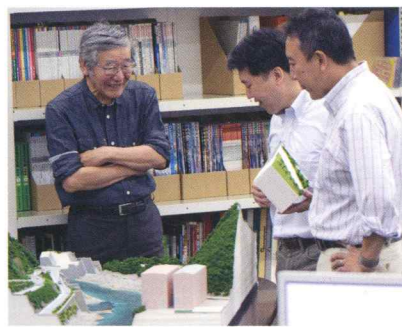
#### 調 査

企画実現の可能性を調査するフェーズ。  
事業に影響する様々な調査項目を漏れな  
く抽出し、計画の前提を明確にするため、  
事業全体を見通す力も問われます。災害  
発生時に、建設コンサルタントが現場に  
駆け付けて、調査することも多くなって  
きました。



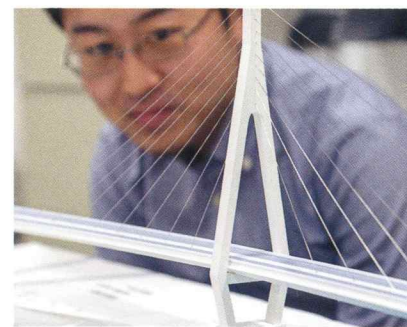
#### 計 画

事業の概要、予算規模を検討し、上位計  
画、関連計画との整合、周辺への影響度  
確認等、事業実現に向けての青写真を作  
成するフェーズ。これらの成果をもとに  
関係者との対外交渉、市民への広報等を  
進める準備を整えます。



#### 設 計

計画が確定した事業を実施するための設  
計図書を作成し予算を確定するフェーズ。  
様々な課題解決のための力が求められま  
す。多様な英知を集めるため、建設コン  
サルタント会社が競い合う設計コンペ等  
が実施されることも増えてきました。



#### 監 理

施工段階でのマネジメント業務として、  
設計監理や、事業全体の予算・工程・  
進捗等を監理する事業監理を実施する  
フェーズ。これまでは、事業者が実施し  
てきましたが、近年、建設コンサルタン  
トに発注される事例が増えてしています。



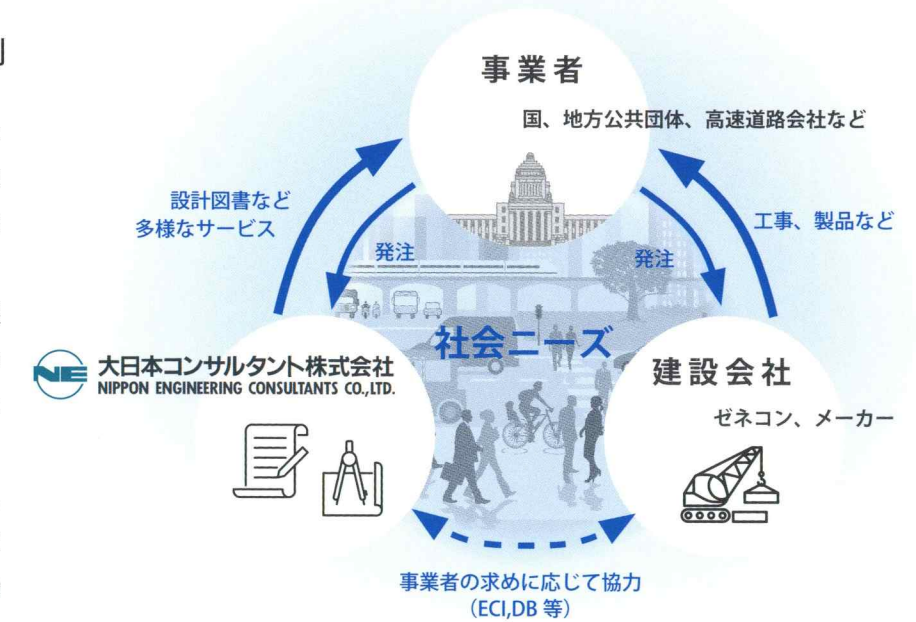
#### 運 営・管理

整備された社会資本を運営・管理する  
フェーズ。指定管理者制度やPFI事業な  
どの法整備も進み、民間企業が担う事業  
も増えて、建設コンサルタントの新たな  
事業機会となっています。運営ノウハウ  
は、企画レベルを上げる情報源にもなり、  
企業価値向上にも寄与しています。



### □ 社会資本整備事業における当社の役割

社会ニーズ、すなわち国や地域の成長を支え、多様な  
市民のニーズに応える社会資本整備は、右図に示すよ  
うに事業者、建設コンサルタント(当社)、建設会社の3  
者が、連携を取って実現させています。  
事業者は社会ニーズに応える事業を立案、予算を確保  
して、企画から運営・管理までを担います。当社はその  
各段階において、事業者のパートナーとして、多様な  
サービスを提供しています。  
近年は、事業者の求めに応じた設計監理、事業監理、  
および事業運営における事業者支援等の機会、さら  
には資金を調達して自ら事業者となる機会も増え、活動  
フィールドが拡大しています。



## 業務領域

構造分野、社会創造分野、国土保全分野の3分野が当社のコア技術です。  
そこに、イノベーションを先導する研究・開発およびデザイン部門と、コア技術をさらに広がりをもって展開するエネルギー事業部門、事業マネジメント部門および海外事業部門を、全社横断組織として配し、事業領域の拡大と高度化に繋げています。



## SDGs 達成に向けて

私たちの国には豊かな自然と四季折々の風景があり、厳しい環境においても人々は地域の特性に工夫を重ね、共生し、多様な地域文化を育んできました。一方、経済成長重視で都市開発等を進めてきた弊害として、それらを支える本当の生活基盤である「山水」や「大地」への関心が薄れ、その多様な恩恵を見逃したり、壊してきた側面にも留意が必要と考えています。持続可能な社会を実現するための国際目標SDGsは、そのような視点も含むものと認識しています。

当社の経営理念である「美しく魅力ある国土の建設と保全」「安全で快適な住まい環境の創出」はSDGsが掲げる理念とも整合していると認識しています。特にイノベーションを足掛かりに、コア事業を興してきた会社の歴史や、様々な関係者との連携を重視してきた実績は、それぞれSDGsが掲げる17ゴールの内、9（産業と技術革新の基盤をつくろう）、11（住み続けられるまちづくりを）、17（パートナーシップで目標を達成しよう）に通じます。加えて、7（エネルギーをみんなにそしてクリーンに）への貢献に向けて事業展開を進めているところです。また、変わり続ける社会ニーズに向き合う人財育成方針は4（質の高い教育をみんなに）にも通じています。

当社はこのような認識の上に、引き継いできた経営理念のもと、これからも一つ一つの社会課題に誠実に向き合い、SDGs達成に貢献していきます。

Innovation

## Core Competence

**4**  
研究・開発  
減災・防災技術  
先進保全技術  
次世代まちづくり

**5**  
デザイン  
土木デザイン  
ランドスケープデザイン  
都市デザイン

**2**  
社会創造  
道路 交通  
まちづくり  
環境

**3**  
国土保全  
河川 下水道  
砂防 地盤  
港湾

**1**  
構造  
橋梁 道路構造物  
都市施設  
トンネル

**6**  
エネルギー事業  
再生可能エネルギー  
水素ステーション  
純水素型燃料電池 他

**7**  
事業マネジメント  
官民連携 PFI  
アセットマネジメント  
事業投資

**8**  
海外事業  
橋梁  
道路  
防災  
技術移転

### SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす開発目標集で、17のゴール、169のターゲットおよび指標で構成されます。

「誰ひとり取り残さない(No One Left Behind)」というコンセプトのもと、People(人間)、Planet(地球)、Peace(平和)、Prosperity(繁栄)、Partnership(協働)の5つのキーワードを大切にす視点から目標が定められています。

17ゴールのキーワードは、1 貧困、2 飢餓、3 健康な生活、4 教育、5 ジェンダー、6 水、7 エネルギー、8 雇用、9 インフラ、10 不平等の是正、11 安全な都市、12 持続可能な生産、13 気候変動、14 海洋、15 生態系・森林、16 法の支配、17 パートナーシップ、です。先進国も途上国も、政府、自治体、企業、すべての関係者が、SDGs達成に向けて自主的に取り組むことが求められています。

Expansion

# 1 構造

Structural Design

## 社会基盤に強さと美しさを

橋は、川や谷を越えて人やモノの交流を促し、技術の発展とともに、より安全で、より身近なものとして私たちの生活の中に溶け込んできました。実用的なだけでなく、詩に詠まれ、絵に描かれて、ロマンを感じさせ、その場所の美しいランドマークとなってきました。

構造分野では、創業時から培ってきた熟練の設計技術をもって、その地域の地形、気候、環境、歴史、ならびに時代が求める要求性能など様々な条件を考慮し、美しく、安全性、耐久性、維持管理性に優れた橋梁や道路構造物の設計に従事しています。

今、日本社会は成熟期を迎え、全国に約70万橋ある道路橋をはじめ、様々な社会インフラの更新や維持管理が課題としてクローズアップされています。また、近年の想定を超えた台風、豪雨などの気象現象、地震、津波により構造物が倒壊、流失するなど未曾有の災害が発生し、人々の暮らしが脅かされています。

これらの課題や脅威に対しても、私たちはこれまで培ってきた技術を伝承し、次世代の人財育成に取り組むとともに、AIやロボットを活用した維持管理技術の開発を行いながら国土の強靱化、維持管理の効率化に努めています。



1. 橋梁の点検・診断している様子
2. 羽田トンネル | 東京都
3. 築地大橋 | 東京都 | 平成30年度土木学会田中賞(新設)受賞
4. 新湊大橋 | 富山県 | 平成24年度土木学会田中賞受賞
5. 気仙沼大島大橋 | 宮城県 | 平成29年度土木学会田中賞(新設)受賞
6. 各務原大橋 | 岐阜県 | 平成25年度土木学会田中賞(新設)受賞

## 社会に快適さと豊かさを

都市や道路の姿は、時代とともに変化してきました。その時々  
の社会状況やニーズに合わせて、豊かで、安全・安心な生活  
基盤をつくり、地域や国の社会経済を支えてきました。

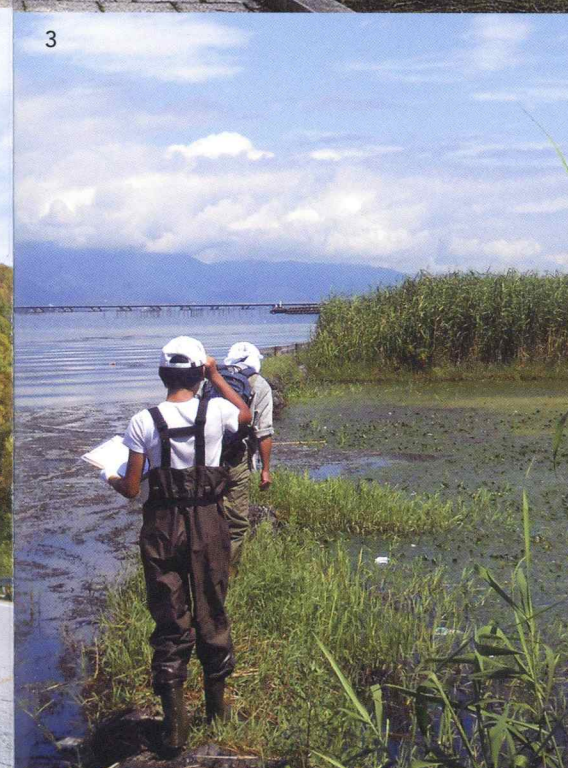
近年は、少子高齢化が進むなか、地方創生、国土強靱化、  
持続可能な開発、生物多様性への配慮、観光立国など、様々  
な役割が都市と道路の整備に求められています。

道路・交通分野では、高速道路から街路まで、様々な道路の  
計画・設計、交通予測、整備効果分析、交通渋滞対策、事  
故分析、公共交通計画等に従事しています。

都市計画分野では、マスタープラン・立地適正化計画の策定、  
地域活性化、観光振興計画、公園や駅前広場の設計、公共  
施設の再生・運営・長寿命化計画等に従事しています。

環境分野では、開発によって生じる自然環境影響評価ととも  
に環境影響低減の提案等に従事しています。

社会創造分野としては、現代の高度で複雑な社会ニーズに対  
応すべく、これらの各分野を統合し分野横断型のプロジェクト  
体制を敷いて、社会に快適さと豊かさをもたらす“みちづくり、  
まちづくり”を目指しています。



1. 小山総合公園森のフォーラム | 栃木県
2. 志賀ルート | 長野県 | 土木学会デザイン賞 2001 最優秀賞受賞
3. ヨシ原再生事業の現地調査
4. 汽車道 | 神奈川県 | 土木学会デザイン賞 2001 最優秀賞受賞
5. 首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡 JCT | 埼玉県

# 3 国土保全

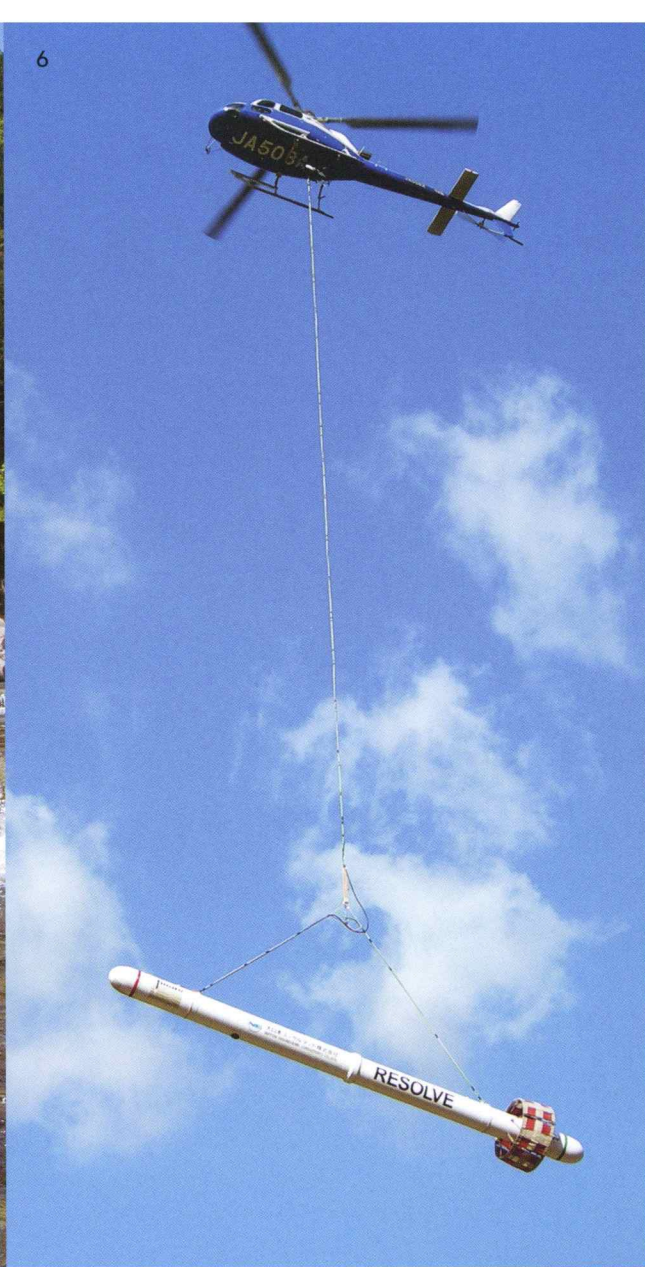
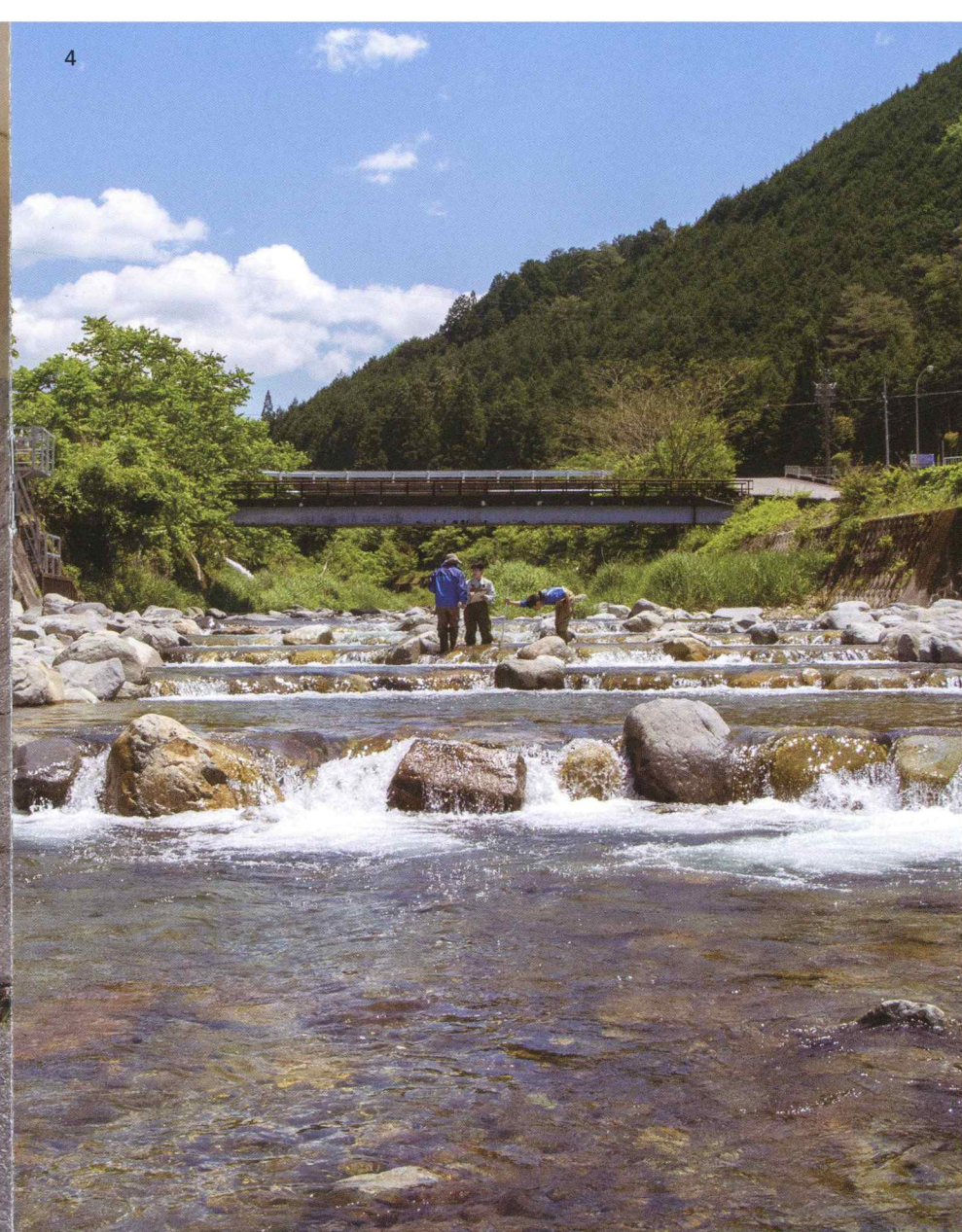
Land Conservation and Disaster Prevention

## 人と暮らしに安心・安全を

水はあらゆる生命の源であり、いかにして必要な水を確保し利用するか、また、洪水などの災害として襲いかかる水はいかにして制御するかが古くから人間社会の課題でした。河川・砂防、下水道、海岸・海洋分野では、水の有効利用や人々の安全・安心な暮らしのために、治水・利水計画や防災対策施設設計に従事しています。事前防災・減災対策にも取り組み、ハザードマップ等を作成しています。また、多自然川づくりや自然再生事業等、自然の持つ防災・減災機能を活かしたグリーンインフラの整備にも携わっています。

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質、低地部の軟弱地盤といった日本独特の地形・地質により、建設事業では多くのトラブルに遭遇してきました。地盤、トンネル分野では、地形や地盤、地下水に関わる調査技術と土木構造物の設計技術により、地質リスクを適正に把握し、建設事業に伴う土に関する諸問題に対処するための地質調査と地盤・構造物設計に従事しています。

災害大国である日本では、豪雨や地震などにより道路や河川堤防が損傷・破壊に見舞われ、私たちの暮らしに甚大な被害をもたらしています。気候変動に伴いこれらに起因する自然災害も激甚化してきています。災害発生時には国や地方自治体からの要請を受けて、応急対策や災害復旧のための緊急出動にも対応しています。



1. トンネル点検の様子
2. 砂防堰堤調査の様子
3. 北十間川護岸整備 | 東京都
4. 竹原川 (魚道整備事後調査の様子) | 岐阜県
5. 北浜海岸 津波避難施設 | 神奈川県
6. 空中電磁法による物理探査の様子
7. 地表踏査の様子

# 4 研究開発

Research and Development

## 英知を集めて未来を拓く

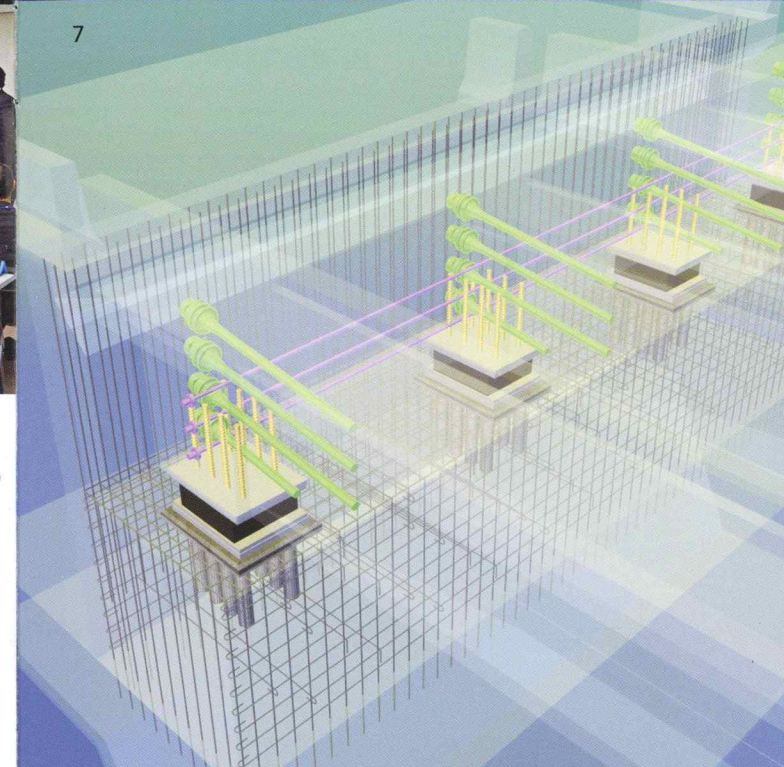
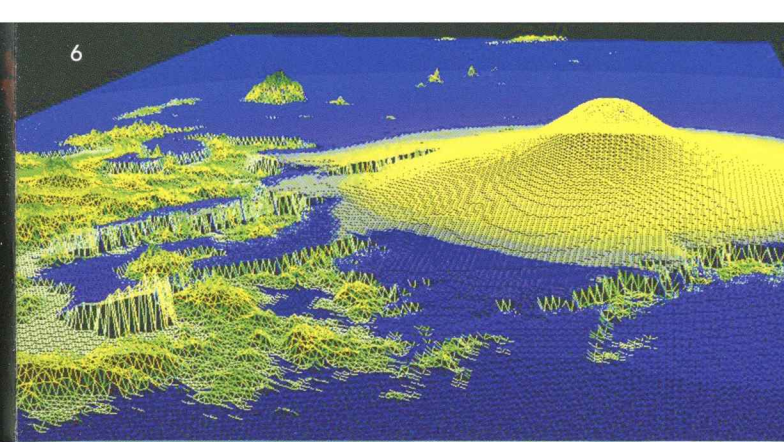
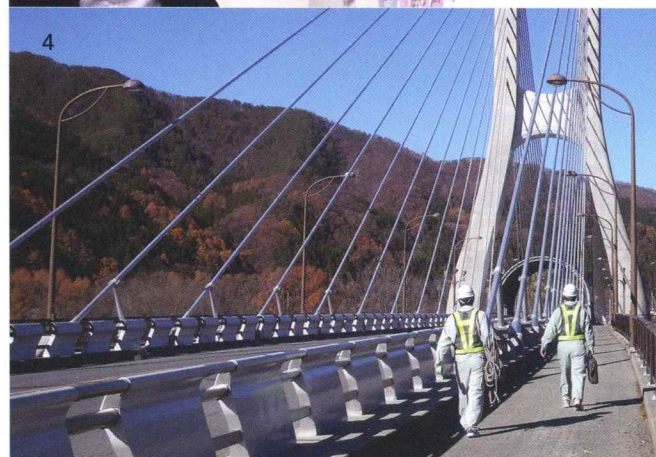
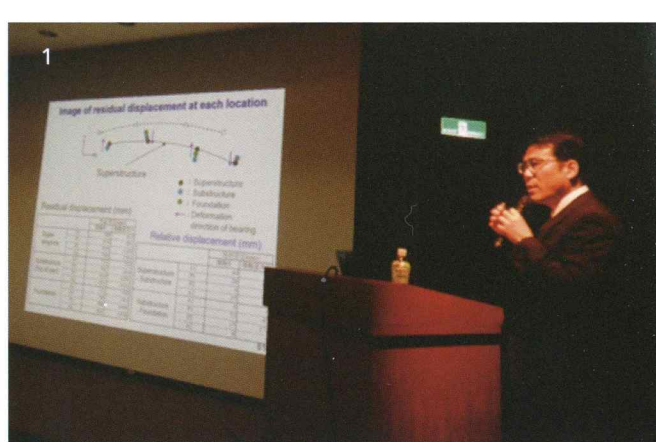
社会ニーズを先取りし、社会が必要とするタイミングで、皆が使える技術として提供することを目標に、様々な研究・開発を実施し、社会実装まで対応しています。

研究開発テーマは、「維持管理及び点検のデジタル化（省力化）」、「地域道路網全体を考慮した減災・防災技術のパッケージ化とアセットマネジメント領域への進出」、「AI等最新ITテクノロジーの設計実務への実装研究」、「次世代まちづくりの研究と実践」、「景観生態学を用いた川づくりの研究と実践」、「空中物理探索の利用拡大に向けた研究と実践」、「様々な技術分野を連携させて新たな付加価値を創出する情報マネジメント技術」等があります。

すべてのテーマで大学や他企業と連携するオープンイノベーション方式で進めています。社会が解決を求める課題を発見するためには、社会課題のすぐそばに位置していることが不可欠であり、私たちは課題発見のセンサーならびに技術の社会実装に向けた羅針盤役を果たしています。

ドローンを活用した橋梁点検用ドローン「マルコ®」の開発は、点検現場の課題を熟知している私たちをハブに、産官学との連携により着手しました。国の点検要領の改定をいち早く取り入れる形で機体や周辺技術の開発を終えたため、社会実装に向けて業界をリードする形でビジネスモデルを構築中です。防災分野でも共同研究にて、地震・津波災害、台風・高潮被害、内水氾濫や斜面崩壊等の災害シミュレーションを行い、ノウハウの保有と解析技術の向上に取り組んでいます。加えて、これら要素技術を組み合わせて、点から面へ、地域を総合的にマネジメントする技術を開発中です。道路構造物の災害に対する危険度予測や対応策の優先順位の決定手法など、説明責任を果たせるコンサルティングにも取り組んでいます。

1. 国際会議での講演会 2. 社内発表会の様子 3. ワークショップでのファシリテーション 4. 現場での計測 5. SIVE|床版たわみ計測の様子 6. 台風による高潮解析 7. 支承周りの配筋等の干渉検討 8. 生態系の潜水調査 9. 多自然川づくりにおける現場指導の様子 10. 橋梁点検用ドローン「マルコ®」 11. マルコ®の社会実装に向けた研修会の様子





# 5 デザイン

Landscape and Aesthetic Design

## 魅力という価値創造

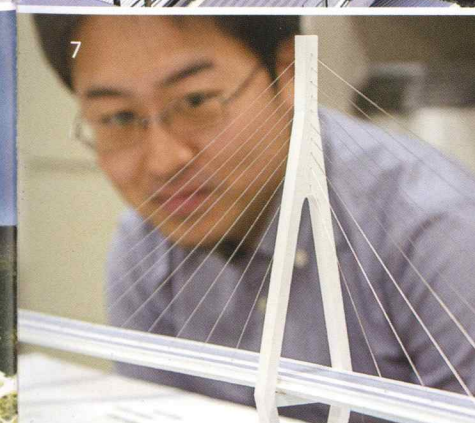
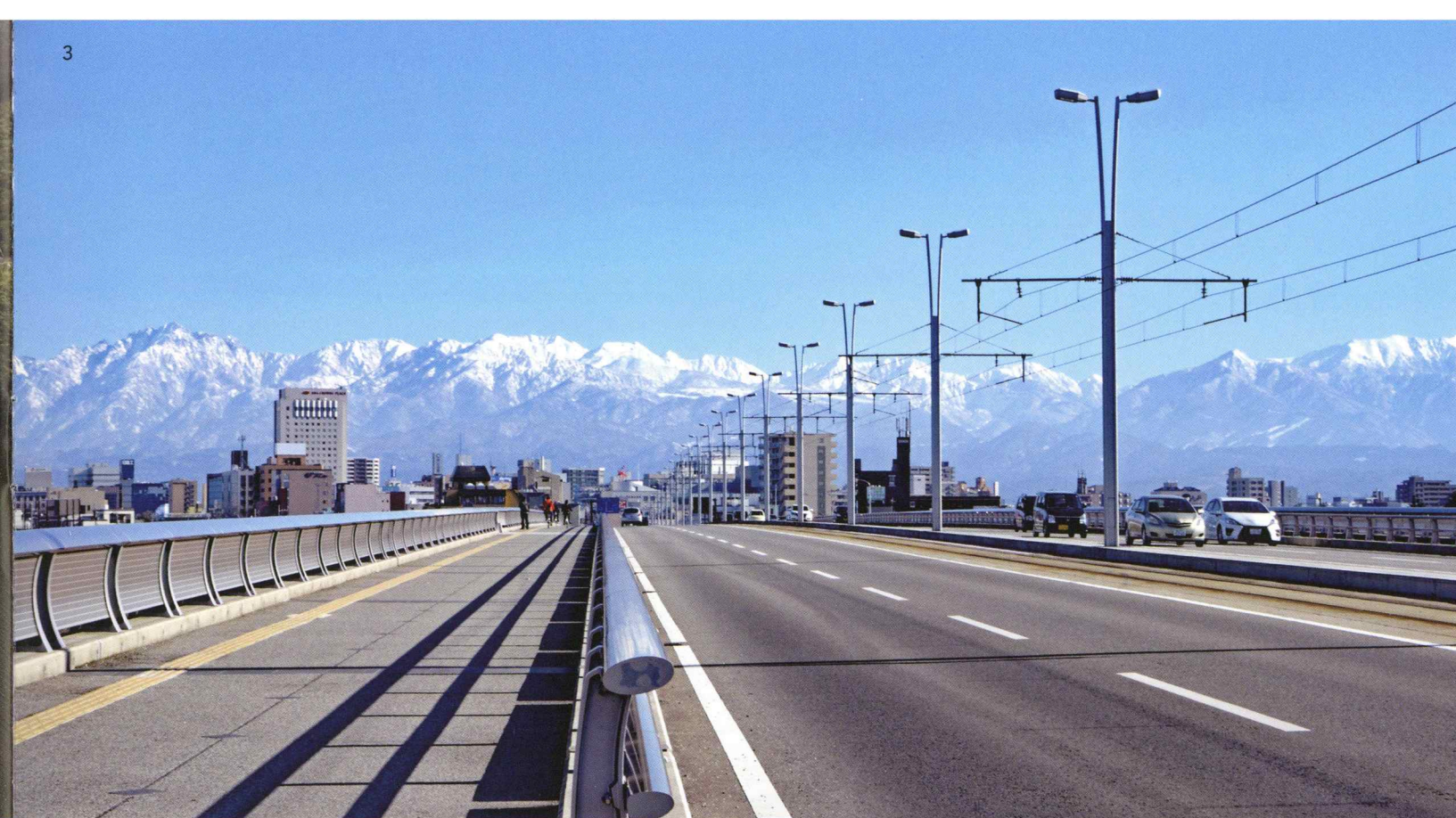
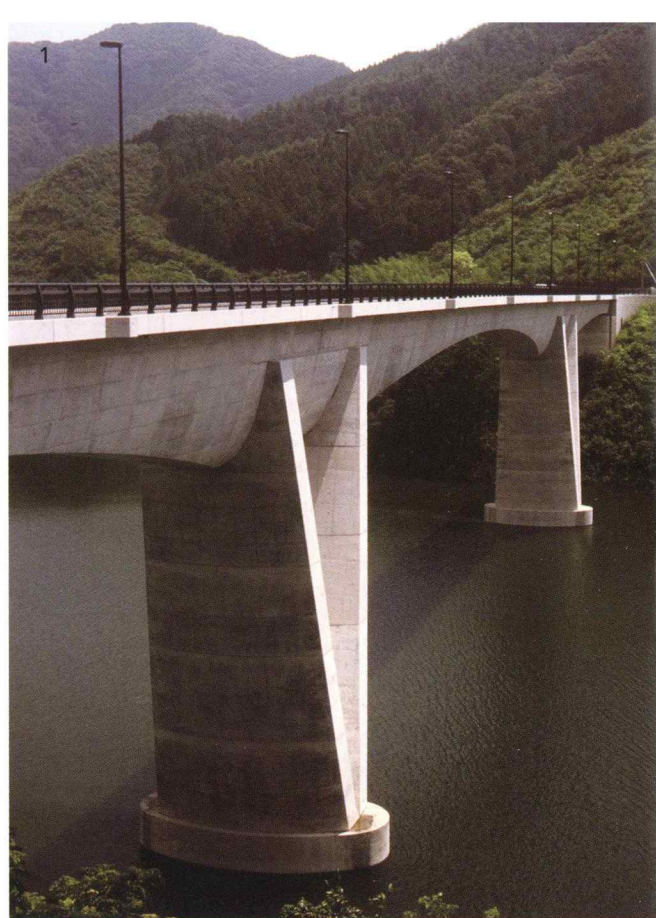
場の魅力という「目に見えないものを見る形に」して表現するのが、私たちのデザインです。

正面の山が最高に美しく見えるように、視界を遮るものを極力表に出さないようにすることもデザインです。

雨風や強い日差しをしのげるシェルターをさりげなく配置しながらも、その周辺への眺めが阻害されないようにすることも、車いすの方、乳母車を押す方、目の不自由な方、様々な人が使いやすいように気を配ることも当然の配慮です。もちろん、風景のシンボルとなる構造物の造形を研ぎ澄ませることも重要です。

私たちは、対象となる社会資本整備にまつわる歴史や社会の背景、地形や気候、最新技術の動向、事業に関わる志のある人物や思いの深い方々の存在等を洗い出し、それらバラバラの物語を紡いで、一つの軸を創ることから始めます。模型はデザインを考えるために欠かせない道具です。模型作りを通して手で考え、仲間と議論して、人々と対話して、デザインを仕上げていきます。様々な要素を統合し、事業そのものの魅力を引き出し価値を創出していきます。

笑顔が生まれる場所づくり、そこを目指して私たちはデザインに取り組んでいます。



1. 吉田大橋 | 岡山県 | 2004 年度グッドデザイン賞受賞
2. 各務原大橋 | 岐阜県 | 土木学会デザイン賞 2015 優秀賞受賞
3. 富山大橋 | 富山県 | 土木学会デザイン賞 2014 奨励賞受賞
4. 大泉学園駅前デッキ | 東京都
5. 川崎ミュージアムデッキ | 神奈川県 | 土木学会デザイン賞 2010 優秀賞受賞
- 6-9. 模型検討の様子

# 6 エネルギー事業

Energy Projects

## 持続可能な社会に向けて

再生可能エネルギーに関するコンサルティングからエネルギー事業運営に至る一連の技術の提供、ならびに産官学との連携によって地方からの元気をつくりだしていきます。

低炭素社会の構築に向けて、水素ステーションや純水素型燃料電池事業を推進しています。加えて、ABINC 活動等の生物多様性配慮に関する研究やバイオマテリアル活用を進めるなど、環境共生社会、循環型社会の構築にも積極的に関わり、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

1. 移動式水素ステーション
2. 純水素型燃料電池 G-Force+FC 自転車 (開発中)
3. 木質ペレット
4. 天井にソーラーシステムを組み込んだバイオマス発電所



# 7 事業マネジメント

Project Management

## 複雑・高度化する社会ニーズに応じて

高度化、複合化した社会ニーズを捉え、官民連携 (PPP: Public Private Partnership) に積極的に取り組み、資金調達から事業運営まで、建設事業のすべてのフェーズに対応できる技術と経験の蓄積を推進しています。これまで国や地方公共団体等の役割であった公共事業の発注や事業の進捗管理においても当社のマネジメント技術を提供していきます。

1. コンストラクションマネージャー (CMR) を担当した岩手県宮古市田老地区
2. 事業監理業務を担当した三陸沿岸道路



## 時間と空間を越えて

海外業務では、言語、食事、習慣、すべてが異なる環境のもと、国内で培ってきた設計技術、マネジメント技術を武器に現地の方々と協力して事業を進めています。当社はODA（政府開発援助）案件を中心に、橋や道路の計画・設計と施工管理、防災計画の立案、維持管理マネジメント等の技術協力（対象国への技術移転）に従事しています。

近年、日本国内では長大橋梁の事業機会は随分と減ってきていますが、海外からは日本の技術が求められており、当社も多くの事業に携わってきました。国内で培ってきた先進設計技術を海外展開することは、私たち自身の貴重な技術継承機会にもなっています。数10kmにおよぶ道路や支間長200mを超える長大橋梁など、対応するプロジェクト規模が大きいことは海外事業の魅力の一つです。

技術協力を主目的とした業務も意義が深いものです。レクチャーや現場指導を通じて、技術を伝達することで、仲間となり、国同士の絆も深まっていきます。加えて、既存技術の移転だけでなく、当社独自に開発した技術の海外展開にも注力しています。

国内、海外といった境界を乗り越え、グローバルに活躍する人財がますます求められています。業務を通じての人づくりも進め、グローバルに社会貢献できる企業を目指していきます。

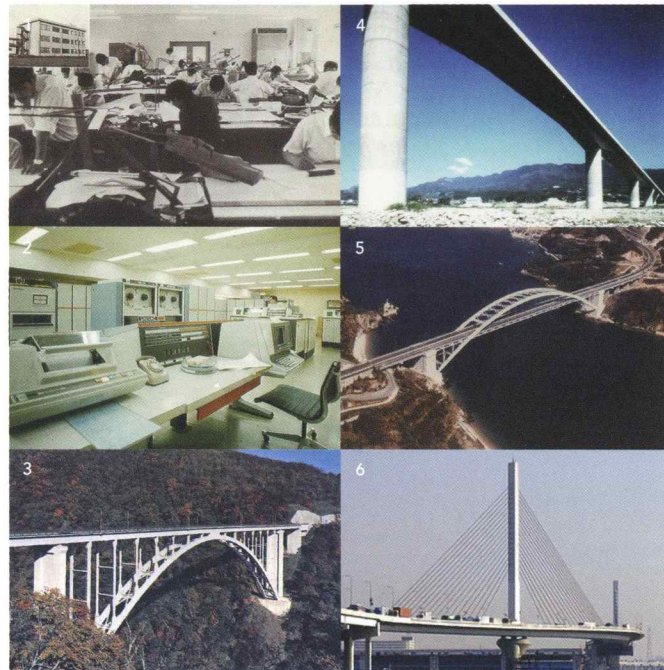


1. ニャッタン橋 | ベトナム ハノイ市 | 平成 25 年度土木学会田中賞(新設)受賞
2. 現地職員とともに
3. レクチャー実施の様子
4. 淡水大橋 | 台湾 | 国際コンペ応募案(入選)
5. 日の出橋 | 東ティモール | 写真提供: JICA
6. ニャッタン橋開通式の様子
7. 現地の子供との交流
8. 現地講演会でのスピーチ

## 会社のあゆみ

### 1963-1989

創業、発展、基礎固め



1963年、東京都文京区駒込にて、「誠実、技術、確実」を社訓に創業。翌年、5部門で建設コンサルタント登録し、大阪、富山、名古屋に出張所を開設。1960年代後半に、研究開発部門を設置し、設計・解析プログラムを開発。先駆的に設計実務での活用を始めます。

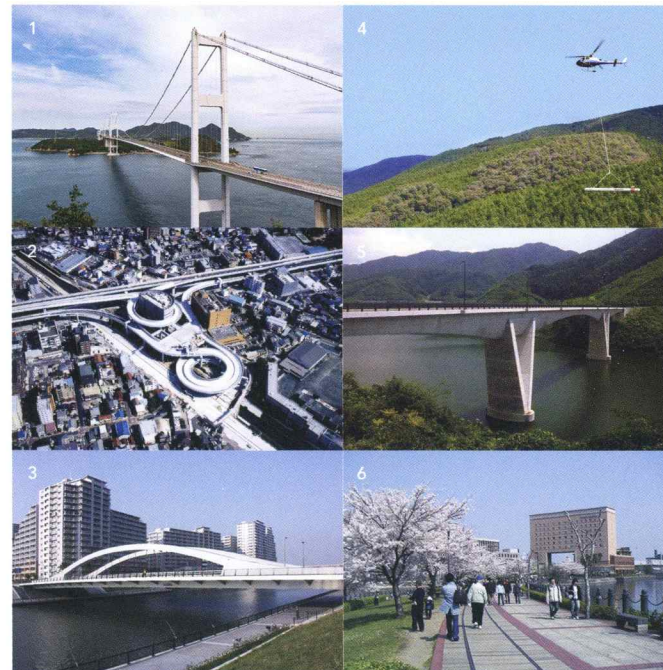
1970年代は、コンサルタント登録部門を増やし、仙台、福岡にも進出。海外部門を設置する等、事業領域を拡大。

1980年、本州四国連絡橋の第一号である「大三島橋」で土木学会田中賞(作品部門)初受賞。以降、「月夜野橋」「かつしかハーブ橋」等でも受賞し、「技術の大日本」の礎を固めました。

1・2. 昭和40年代の設計室と電算室 3. 六方沢橋 4. 月夜野大橋 5. 大三島大橋 6. かつしかハーブ橋

### 1990-2009

成長、安定、変革



1990年代は、空中電磁探査分野への挑戦(現在も継続)、ベトナムに子会社設立等、成長戦略を推進。

1997年に東証第二部に上場。経営システムのIT化、ISO9001,14001の取得等、経営体制の確立を推進。

2002年、「自動車道」「志賀ルート」で第1回土木学会デザイン賞を受賞。以降、数多くの受賞を重ねています。独自技術の特許取得もこのころから増え始め、「技術とデザインに優れる大日本」との評判を高めました。

2005年、新たに「港湾及び空港部門」に登録し、港湾分野へ領域拡大。2009年、業容変革に備えて子会社NEテクノ創設。

1. 来島大橋 2. 黒川ランプ 3. 新豊橋 4. 空中電磁探査の様子 5. 苫田大橋 6. 自動車道

### 2010-現在

次の進化に向けて



2013年、創業50周年を迎える。

2014年、インフラ技術研究所を設立し、イノベーションによる事業領域開拓を本格始動。2015年、水素インフラ事業で地方創生にも資する清流パワーエナジーを設立し、エネルギー分野の開拓を開始。橋梁設計等のコアコンピタンスの充実を継続しつつ、新たな事業領域拡大を推進し、次世代に繋がるイノベティブな企業に進化すべく、舵を切りました。頻発する自然災害、変化する社会ニーズ、それらに合わせて高度化、複合化する建設コンサルタントの役割を拡大し、未来に誇れる社会価値を創造する企業へ、さらなる進化を遂げていきます。

1. 各務原大橋 2. 移動式水素ステーション 3. 築地大橋 4. ドローンによる橋梁点検 5. 首都高速の拡幅耐震改築 6. CMRを実施した田老地区

## 会社概要

商号	大日本コンサルタント株式会社 NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.
設立	1963年1月23日
資本金	13億9,900万円
株式上場	東京証券取引所 市場第二部
本社所在地	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町300番地
登録	建設コンサルタント 測量業 地質調査業 計量証明事業(音圧レベル) 計量証明事業(振動加速度レベル) 土壌汚染対策事業 一級建築士事務所 ISO9001、ISO14001 ISO/IEC27001
子会社	Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd. NEテクノ株式会社 合同会社ふじおやまパワーエナジー
関連会社	株式会社清流パワーエナジー



<https://www.ne-con.co.jp>



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C007905



# 大日本コンサルタント株式会社 NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO.,LTD.

## 企業概要

商号	大日本コンサルタント株式会社 NIPPON ENGINEERING CONSULTANTS CO., LTD.
設立	1963年1月23日
資本金	13億9,900万円
株式市場	東京証券取引所 市場第二部
本社所在地	〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300番地
本社電話番号	03-5298-2051
従業員数	636名〔2019年6月30日現在〕 (従業員数には嘱託社員を含み、社外への出向者を除いています)

## 資格者一覧

(2019年7月1日現在)

### 技術士

※( )内は、総合技術監理部門取得者数

建設部門	河川、砂防及び海岸・海洋 道路 都市及び地方計画 土質及び基礎 鋼構造及びコンクリート トンネル 建設環境 鉄道 港湾及び空港 施工計画、施工設備及び積算	19名(6名) 83名(25名) 32名(13名) 12名(5名) 102名(37名) 3名(2名) 20名(7名) 1名(1名) 2名 3名
環境部門	自然環境保全 環境影響評価	1名 3名
上下水道部門	下水道	4名
応用理学部門	地質	9名(4名)
農業部門	農業土木	1名(1名)
情報工学部門	情報システム・データ工学 情報ネットワーク	1名(1名) 1名
博士号		18名
RCCM		111名
一級土木施工管理技士		232名
測量士		71名
一級建築士		7名

## 令和元年度 国土交通省表彰業務

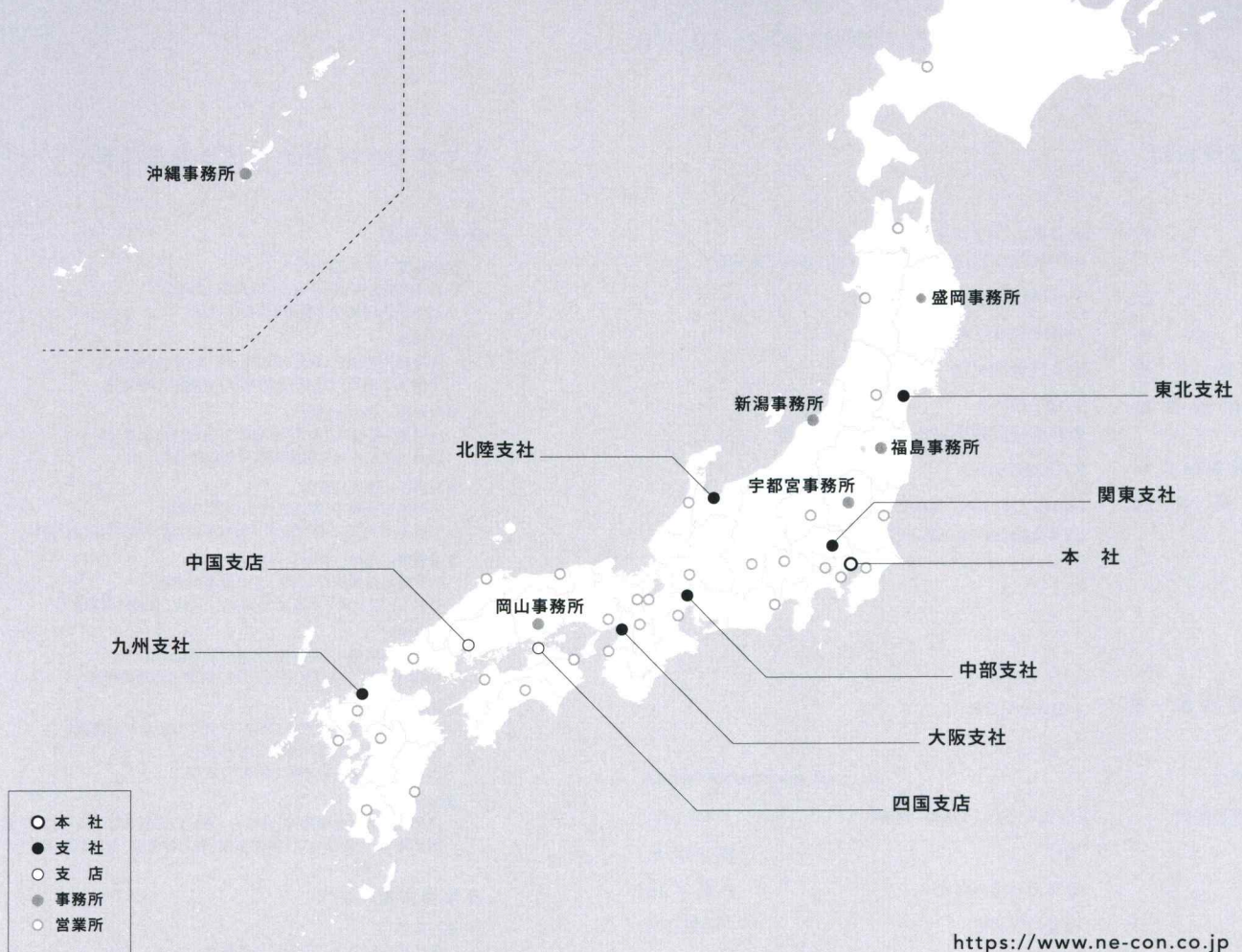
### 局長表彰

- 優良業務／優秀技術者  
関東地方整備局(発注先:相武国道事務所)  
29G管内道路計画検討(その2)業務
- 優良業務  
北陸地方整備局(発注先:富山河川国道事務所)  
平成30年度管内道路(改築事業)詳細設計等業務
- 優良業務／優秀技術者  
近畿地方整備局(発注先:福知山河川国道事務所)  
由良川三日市地区他築堤等詳細設計業務
- 優良業務／優秀技術者  
中国地方整備局(発注先:岡山国道事務所)  
平成29年度岡山環状南道路大樋橋西高架橋等詳細設計業務
- 優良業務／優秀技術者  
四国地方整備局(発注先:土佐国道事務所)  
平成29-30年度 南国安芸道路(1工区)構造物設計業務
- 優良業務  
九州地方整備局(発注先:延岡河川国道事務所)  
平成30年度 塩見大橋(上り線)耐震補強設計業務
- 優良業務  
内閣府沖繩総合事務局(発注先:開発建設部北部国道)  
平成30年度北部国道管内道路附属物  
及び土工構造物点検等(その2)業務
- 優良業務  
内閣府沖繩総合事務局(発注先:開発建設部那覇港湾・空港整備)  
那覇港(新港ふ頭地区)臨港道路(若狭港町線)詳細設計業務(その2)

### 事務所長表彰

- 優良業務  
東北地方整備局 三陸国道事務所  
田野畑普代地区補足設計業務
- 優良業務  
東北地方整備局 岩手河川国道事務所  
盛岡地区橋梁詳細設計業務
- 優良業務  
東北地方整備局 仙台河川国道事務所  
大衡地区道路計画設計業務
- 優良業務／優秀技術者  
関東地方整備局 日光砂防事務所  
H29日光砂防管内砂防施設設計業務(その4)
- 優秀技術者  
北陸地方整備局 富山河川国道事務所  
平成30年度富山管内交通解析検討業務
- 優秀技術者  
北陸地方整備局 金沢河川国道事務所  
平成29年度輪島道路(2期)池田川橋詳細設計外業務
- 優良業務／優秀技術者  
北陸地方整備局 北陸技術事務所  
平成30年度富山・石川県内橋梁点検等業務
- 優良業務  
北陸地方整備局 長岡国道事務所  
国道17号六日町バイパス竹俣跨線橋(渡河部)詳細設計業務
- 優良業務／優秀技術者  
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所  
管内橋梁補修設計業務
- 優良業務／優秀技術者  
近畿地方整備局 奈良国道事務所  
大和北道路郡山下ツ道南他橋梁詳細設計業務

## 国内拠点



<https://www.ne-con.co.jp>



## 主要拠点

### 本社

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300  
TEL:03-5298-2051 FAX:03-5295-2130

### 東北支社

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35  
TEL:022-261-0404 FAX:022-261-0414

### 関東支社

〒330-6011 さいたま市中央区新都心11-2  
TEL:048-600-6671 FAX:048-600-6681

### 北陸支社

〒930-0029 富山県富山市本町3-21  
TEL:076-415-7800 FAX:076-415-7795

### 中部支社

〒451-0045 名古屋市西区名駅2-27-8  
TEL:052-581-8993 FAX:052-561-6780

### 大阪支社

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8  
TEL:06-6121-5501 FAX:06-6121-5753

### 九州支社

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-35  
TEL:092-441-0433 FAX:092-482-4033

### 中国支店

〒732-0825 広島市南区金屋町2-15  
TEL:082-535-3366 FAX:082-535-3367

### 四国支店

〒760-0026 香川県高松市磨屋町3-1  
TEL:087-851-9292 FAX:087-851-9291

### マニラ支店

2210 Don Chino Roces Ave., Makati City,  
1230, Philippines  
TEL:+63-2-8887-5224

### インフラ技術研究所

〒330-6011 さいたま市中央区新都心11-2  
TEL:048-615-2223 FAX:048-615-2229

## 子会社

### Nippon Engineering-Vietnam Co., Ltd.

364 Cong Hoa, Tan Binh District,  
Ho Chi Minh City, Vietnam  
TEL:+84-28-3810-6300  
事業内容:CAD設計

### NEテクノ株式会社

〒330-6013 さいたま市中央区新都心11-2  
TEL:048-600-6661 FAX:048-600-6669  
事業内容:建設コンサルタント

### 合同会社ふじおやまパワーエナジー

〒410-1306 静岡県駿東郡小山町上野1099-1  
TEL 080-6518-6492  
事業内容:エネルギーサービス

## 関連会社

### 株式会社清流パワーエナジー

〒500-8055 岐阜県岐阜市笹土居町27番地  
TEL 058-214-2399 FAX 058-264-6218  
事業内容:エネルギーサービス